

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	環境審議会事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	環境政策・放射能対策課			
施策	2-1	豊かで美しい生活環境の創造		主管課長	染谷 忠美			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	環境審議会委員	意図	本市の環境保全を適正に推進する。
事業内容	環境審議会を開催し、環境保全に関する基本的事項等に必要な調査及び審議を行う。公平かつ専門的な立場から調査及び審議していただくことで、環境保全に関する計画について取り組むべき方向性が示され、適正な施策の推進が図れる。			
事業開始から現在までの状況変化	従前、流山市公害対策審議会が環境保全に関する調査及び審議を行っていた。流山市附属機関に関する条例の改正により流山市環境審議会が同内容を引き継いで調査及び審議を行っている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	環境審議会開催回数	12	12	11	回	→→	(環境審議会+部会)の回数
②	環境審議会出席委員数	96	89	85	人	→→	(環境審議会+部会)の出席委員	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成28年度は、平成27年5月11日に諮問した「流山市地球温暖化対策実行計画の改定について」「第3期流山市生活排水対策推進計画の策定について」のそれぞれについて平成28年10月5日に答申をいただき平成28年度末に両計画を策定した。また、平成28年12月13日に「生物多様性ながれやま戦略の策定について」の諮問を行った。 なお、平成28年度に行った会議は以下のとおり。 環境審議会：6回、地球温暖化対策実行計画改定部会：2回、生物多様性ながれやま戦略策定部会：3回	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,532,100	8,095,500	7,477,000				
事業費(b)(円)		691,200	640,800	612,000				
うち一般財源		691,200	640,800	612,000				
職員給与と費(c)(円)		6,840,900	7,454,700	6,865,000				
人役・職員(人)		0.99	0.99	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	計画等の諮問案件が多くあるため、審議会・部会の調整を行い効率的な審議と運営を行う必要がある。	③取組の課題	平成29年度は「生物多様性ながれやま戦略の改定」及び「流山市路上喫煙の防止及びまちをきれいにする条例の改正」の答申をいただく予定となり効率的な審議会運営が必要。
②今年度(H28)に実施した取組	6回の審議会と5回の部会を行い、2計画（地球温暖化対策実行計画（区域施策編）、生活排水対策推進計画）の答申を受けた。	④今後の改善計画	審議案件が多いため、答申・パブリックコメント等の日程を踏まえた効率的な審議スケジュールを組む必要がある。